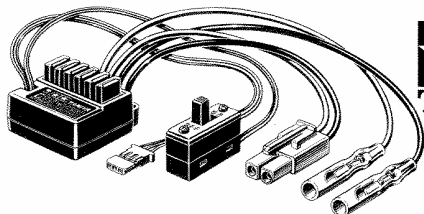




TEU-302BK

FET Speed Controller

タミヤ TEU-302BK アンプ 取扱い説明書



このたびはタミヤTEU-302BKアンプをお買い上げいただきありがとうございます。このアンプは電動RCカー用に開発されたバック付き高周波ドライブ方式を採用したFETアンプです。ご使用前にこの説明書を良くお読みください。また、本製品を安全にご使用いただくために注意事項等は必ず守ってください。誤ったご使用での事故や故障は保証の対象外となります。

★ショットキーダイオードなど電流を制限する電子パーツはバック時、逆電流状態になりアンプをこわす原因となります。絶対に使用しないでください。また取り付けてある場合は外してください。

★セットアップ中はモーターは配線しないでください。

タミヤTEU-302BKアンプ (バック付き)

★使用可能受信機：タミヤ、KO、フタバ、JR、サンフ (Zコネクター)

●制御方式：高周波ドライブ方式

●連続最大電流 (FET規格)：前進 120A バック 60A

●使用電源電圧：7.2~8.4V (6~7セル)

●対応モーター：電動RCカー用 (23ターン以上)

●ドライブ周波数：500Hz、1kHz、2kHz (3ステップ)

●受信機用出力電圧：6V (入力7.2V時)

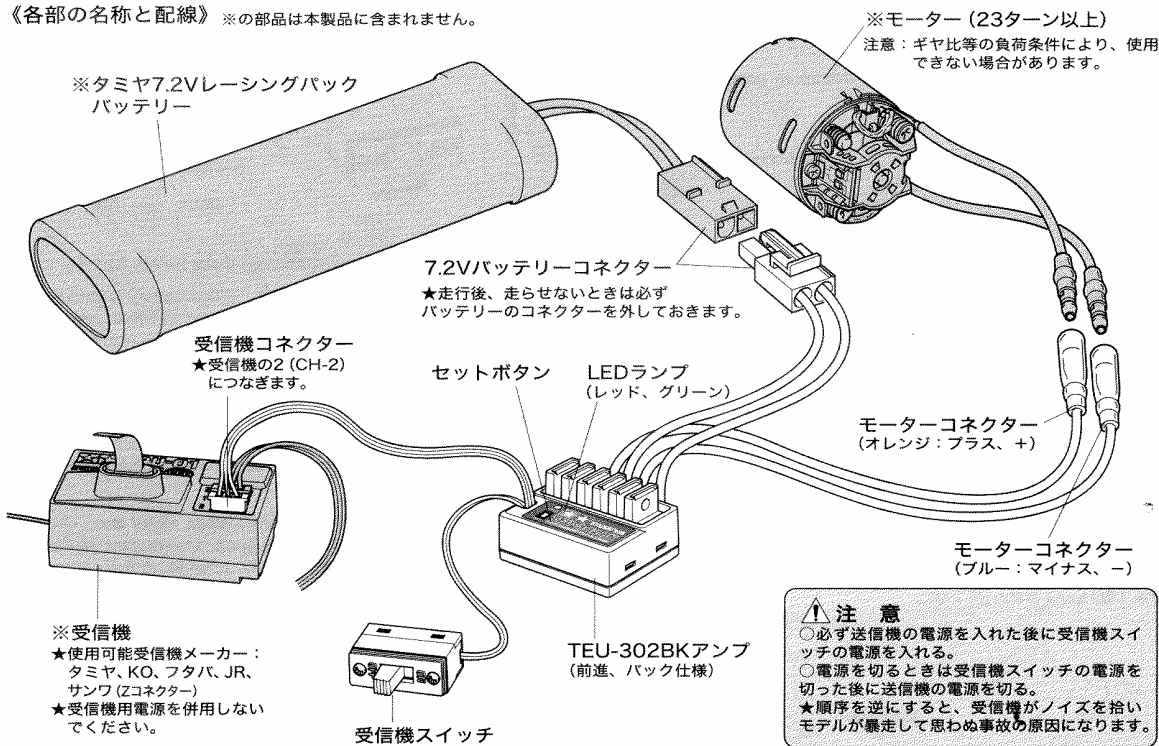
●受信機用出力電流：1A

●寸法：33.5×27.2×14.3mm (突起物を除く)

●重量：48g (アンプ本体 43g)

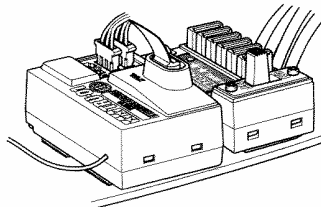
※製品改良のため予告無く仕様を変更することがあります。

《各部の名称と配線》 ※の部品は本製品に含まれません。



《搭載方法》

●スピードコントロールアンプ、モーター、走行用バッテリー、配線コードといった大電流が流れている所は全てノイズが発生していると考えてください。ノイズ発生源に受信機や受信機アンテナ線を近づける事はノコンの原因になります。アンプと受信機、アンテナポストが密着したり、アンテナ線がアンプの配線コードに交差しないように配置して搭載位置を決めてください。カーボンシャーシや金属シャーシもノイズを拾い伝達します。



★アンプは両面テープでシャーシやメカデッキに固定します。スイッチは操作しやすい位置に取り付けましょう。

↑ 警告

- 本製品は地上用RC模型を対象に製造、販売されており、他へのご使用はおやめください。
- 受信機にスピードコントロールアンプ、サーボのコネクターを確実に取り付けてください。走行中の振動でコネクターが抜けると車が暴走することがあります。
- 送信機スイッチを入れる前に必ずバンド (周波数) が空いている事を確認してください。同じバンドを使用しているモデルが暴走して危険です。
- 雷の鳴っている時は走行させない。アンテナに落雷の危険があります。
- 雨天や水たまりのある所では走行させない。受信機等の機器に水が入り暴走する事があります。
- 走行後はバッテリーを外してください。誤ってスイッチが入った時にモデルが暴走したり、火災の原因になる事があります。
- 送信機、バッテリー、モデル等は幼児の手の届かない所に保管してください。ケガ、やけど、誤飲による中毒等の危険性があります。

↑ 注意

- 走行用バッテリー、モーターの極性 (+、-) を間違えないように接続してください。アンプ、受信機等の機器が壊れます。
- ターン数の少ないモーターを低周波設定にして最高速走行を続けるとアンプ、モーターが壊れます。
- 連続走行は避けてください。バッテリーコネクターが溶ける事があります。また走行後のモーター、スピードコントロールアンプ等熱くなっている所には触れないでください。やけどする事があります。
- バッテリーコード、モーターコード等の各コード類をショートさせないでください。RCメカや車体を破損します。
- 本製品には精密な電子部品が納められています。強い衝撃を与えたり、内部に水が入ったり、湿気をおびると故障の原因になります。
- 分解、改造しないでください。また、指定のバッテリー、モーター以外は使用しないでください。RCメカの破損の原因となります。
- 道路や人の多い場所ではRCモデルの走行をしないでください。

《セットアップ》

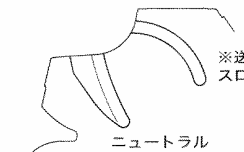
★セットアップを行うときにはモーターの配線を外しておいてください。

ニュートラル/前進ハイポイント/バック(ブレーキ)ハイポイント

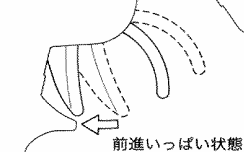
① 配線図に従って各コネクタを確実に接続し(モーターは接続しません)、送信機のスイッチを必ず先に入れます。スロットルトリムをニュートラルにし、リバーススイッチをノーマルにしてください。
★送信機のスロットル舵角の作動量を調整してある場合は元にもどします。(出荷時の設定)そして、ABS機能やアクセレーション機能がある場合は必ずOFFにしてください。

② 次に受信機スイッチを入れます。最初にセットする場合、赤いLEDランプが1回瞬間点灯します。

③ 送信機のスロットルがニュートラルの状態です。セットボタンを1回押します。



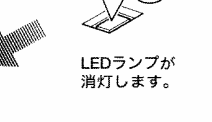
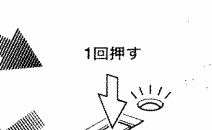
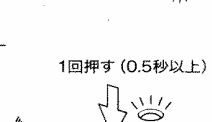
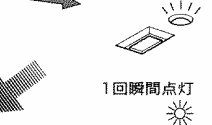
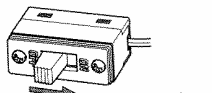
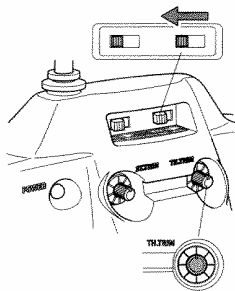
④ スロットルを前進最高速位置にした状態でセットボタンを1回押します。



⑤ スロットルをバック最高速(最大ブレーキ)にした状態でセットボタンを1回押します。



⑥ LEDランプが消灯すれば、設定完了です。(標準設定完了)

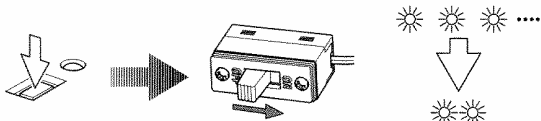


★すべてのポイント設定が完了した時点でデーターの記録をするため各ポイントを単独で設定することはできません。
★設定途中で電源OFFにした場合、設定ポイントは記録されません。前回のデーターのままになります。
★各設定で入力が確実でない場合には次の設定に進みません。
★ご使用の送信機を変更した際は同じ設定を再度行ってください。

バック側キャンセル

★バック走行禁止のレースにも対応。次の方法でバック機能をキャンセルできます。(バック側はブレーキ動作のみとなります。)
★元に戻す場合は同じ設定をすればバック走行が可能となります。(交互に切り替わります。)

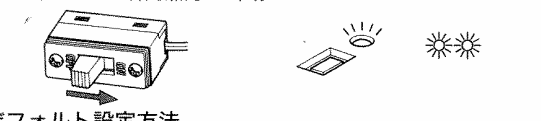
送信機のスイッチを入れ、セットボタンを押したまま受信機スイッチを入れすぐに(3秒以内)セットボタンを離します。赤いLEDランプが点滅から瞬間点灯を2回して(バック走行設定の時は瞬間点灯が1回です)消灯すれば完了です。



★走行前にバック側の設定の確認ができます。バック走行可: 送信機のスイッチを入れ、受信機のスイッチを入れたとき瞬間点灯が1回。



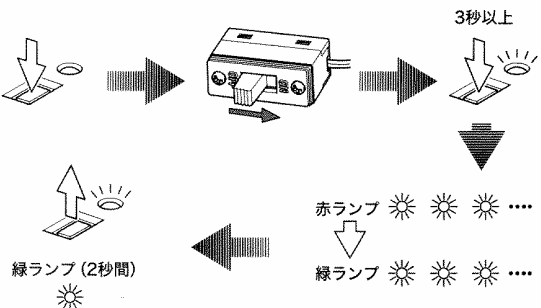
バック走行不可: 送信機のスイッチを入れ、受信機のスイッチを入れたとき瞬間点灯が2回。



デフォルト設定方法

★各種設定を行った後でも購入時の初期設定に戻すことができます。

送信機のスイッチを入れ、セットボタンを押したまま受信機のスイッチを入れます。3秒以上押したままにするとLEDランプが赤の点滅から緑の点滅に変わります。緑色に変わったらセットスイッチを離します。緑の点灯が2秒続いて消えます。これで初期設定に戻ります。



保証書

タミヤ TEU-302BK アンプ

お名前

電話番号

ご住所

お買上日 年 月 日

保証期間●お買上時から6ヶ月(180日)

販売店印

●上記の製品を裏面の規定通り保証いたします。

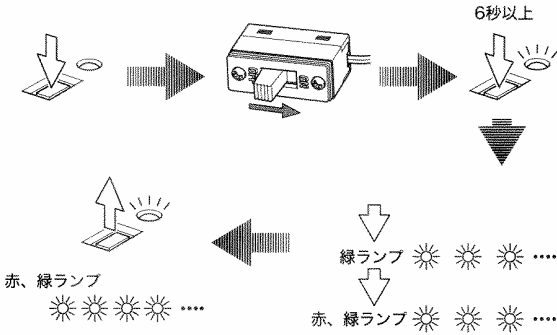
※販売店印とお買上年月日の記入が無いものは無効

★Effective only in Japan.

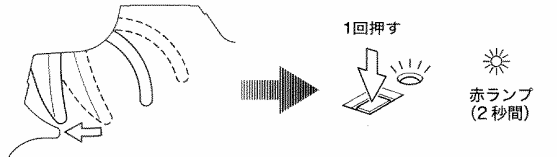
トルクカーブの調整 (ドライブ周波数設定)

★コースや路面状態に合わせ、低、中速時のトルクを3段階に設定できます。(出荷時はノーマル状態にセットされています。)

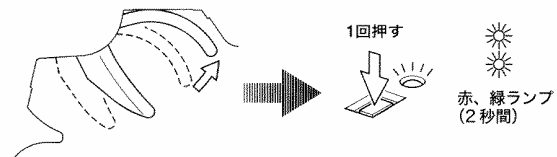
送信機のスイッチを入れ、セットボタンを押したまま受信機のスイッチを入れます。6秒以上押したままにするとLEDランプが赤の点滅から緑の点滅になり、さらに赤・緑の点滅に変わります。赤・緑の点滅が変わったらセットボタンを離します。



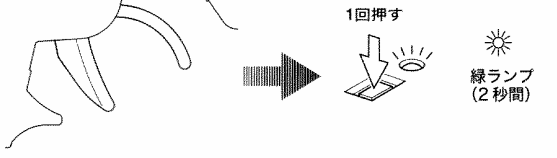
マイルド設定: 送信機のトリガーを前進最高速まで引きます。セットボタンを押すとLEDランプ、赤が2秒間点灯します。



パンチ設定: 送信機のトリガーをバック最高速まで押しします。セットボタンを押すとLEDランプ、赤・緑が2秒間点灯します。

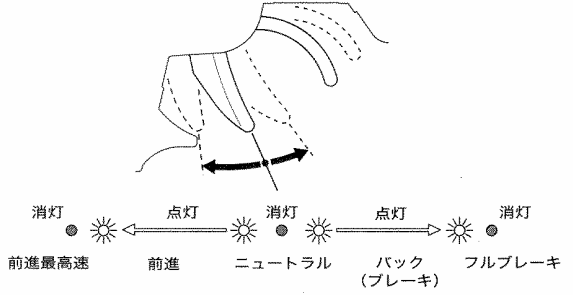


ノーマル設定: 送信機のトリガーをニュートラル位置にします。セットボタンを押すとLEDランプ、緑が2秒間点灯します。

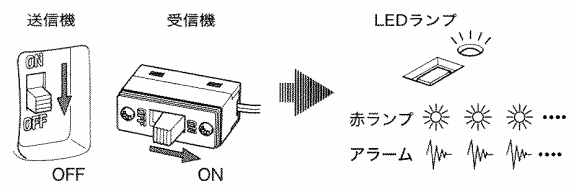


スロットル操作とLEDランプ

●設定が正常に行われるとニュートラルで消灯、スロットルを引き始め(押し始め)で点灯、前進最高速またはブレーキ最大で消灯します。



●送信機のスイッチを入れないで(OFF)受信機のスイッチを入れると(ON)LEDランプが点滅します。モーターが接続されている場合は、同時にアラームで知らせます。



タミヤTEU-302BKアンプにはアンプ保護のため3つのセーフティ機能が備えられています。

減電圧保護回路: 走行用バッテリーの電圧が低下したとき、完全に停止してしまう前にモーター出力を自動的に抑え、サーボ動作電圧を確保してノーコンを防ぎます。走行スピードが遅くなってきたらRCカーを回収して充電済みの走行用バッテリーに交換、または充電をしてください。

温度保護機能: 連続走行や高負荷条件での走行によりFETが異常発熱するとモーターへの出力を減らしRCカーのスピードを下げます。さらに発熱が続く場合はモーターへの出力を停止し損傷を防ぎます。しばらく休ませて、FETの温度が下がれば自動復帰します。

過電流保護機能: モーターのショートやロックなどにより、過電流がFETに流れた際に自動的にモーター出力を停止します。自動復帰はしませんので、故障箇所を点検、修理して送信機スイッチ、受信機スイッチを入れ直してください。

《注意》

- 走行用バッテリーの極性は絶対に間違えないでください。アンプ内部が破損します。
- 前進、後進を繰り返すと、モーターおよび、FETの発熱や劣化をおこし、アンプを破損する原因となりますのでおやめください。
- 水没した場合、直ちに電源を切り、走行用バッテリーをはずし、乾燥させてください。

《トラブルチェック》 ★おかしいな?と思ったらときは修理に出すまえに、下の表を参考にトラブルチェックを行ってください。

症状	原因	対策
モーターが回らない ブレーキが効かない	★セットアップのミス ★モーターの不良 ★配線ミス ★アンプの不良	●セットアップを初めからやり直してください。また、プロポの機能もチェックしてください。 ●モーターを交換してください。 ●コードと配線を点検、確認してください。 ●カスタマーサービスまでお問い合わせください。
アンプがオーバーヒート (温度保護機能が働いている)	★クーリング不足 ★走行車輛の駆動系の問題 ★モーターのギヤ比が合っていない	●ボディに穴を開けるなどでアンプの通気を良くしてください。 ●車両の回転部分を確認、スムーズに回るよう組み立て直します。 ●モーターの適正ギヤ比にしてください。

★修理依頼されるときはもう一度説明書をお読みいただき、チェックをしてください。故障状況をできるだけ具体的に詳しくお書きいただき、製品と共に当社カスタマーサービスまでお送りください。故障の症状がわかることで、修理が早く済みます。

株式会社 タミヤ
カスタマーサービス
《お問い合わせ番号》
静岡 054-283-0003
東京 03-3899-3765 (静岡へ自動転送)
営業時間 平日(月～金曜日)8:00～20:00 土、日、祝日8:00～17:00

タミヤインターネットホームページアドレス
www.tamiya.com

